

# カラムシ尽くし

竹原旅館で  
今日まで 2店によるコラボ展

来年の大河ドラマ「天地人」を盛り上げると共に、上越市を基点に和幸(カラムシ)製品を広めようと、上越市大町2の竹原旅館を会場にし、「からむし体験コラボ展」が開かれている。来場者は買物物のほか、カラムシの繊維を取り出す体験などをして楽しんだ。会期は今日8日まで。



大橋さん(右)の指導を受け苧引き体験をする女性

同旅館の1階を会場に十日町市の「ネオ昭和」と本町3の「和雑貨おおすぎや」が共同企画し開いた。ネオ昭和はカラムシ素材のチュニックなど衣類品を、おおすぎやはカラムシが原料の小千谷縮、越後上布をリメイクした服や反物などを出品している。「カラムシで作った服は肌に優しく着

心地も良い。丈夫で長持ちするのでずっと使うことができる」とネオ昭和の村山好明社長

柏崎市高柳町の大橋美恵子さんによる、カラムシから繊維を取り出す「苧引き(おびき)」の実演も行われ、来場者は興味深そうに眺めたり、大橋さんから手ほどきをうけながら挑戦していた。

上杉謙信、景勝が財力強化のためにカラムシ栽培などを行っていたことから、イベント開催場所を両者にゆかりのある同市に決定。おおすぎやの宮越紀祢子店長は「新潟の知名度が上がる絶好の機会。まずは地元を盛り上げようと企画した」と話していた。